



黒崎町黒崎地区センター新築工事

## 北部地区公民館の建設に

### 2億4千万円

大野小プールを  
新築

## 教育費 5億2,784万6千円

教育施設の改善として、大野小学校のプールを新設するほか各小学校施設を整備します。黒崎中学校の排水、校庭整備を行います。

社会教育は、寺地地域に北部地区公民館を建設します。これは土地1360㎡鉄筋コンクリート2階建て1052㎡の施設です。青年サークル、中央婦人学級、成人学級、寿学級、各種講演会、団体へ助成します。スポーツは町民総参加を目指し、町民運動会、青少年野球大会、町内駅伝大会少年相撲大会などを開催します。昨年計画しながらも実施が見送られた寺地スポーツ公園ですが、今年度は国庫補助事業として施行します。

青少年の健全育成についても、青少年育成町民会議を主体として強化していきます。

- ・教育委員会費 1,046万7千円
- ・小学校工事費 848万3千円
- (主なもの)
- 大野小雨漏り修理、山田小増灯工事
- 立仏小プール補修工事、木場小窓枠取替工事、黒鳥小非常階段ペンキ塗工事、板井小体育館ステージ壁天井補修工事

- ・大野小プール建設費 6,960万円
- ・小学校備品購入費 683万4千円
- ・中学校管理費 3,678万8千円
- ・社会教育総務費 590万9千円
- (各種団体への補助金、社会教育委員等の報酬、各種講座講師謝金など)
- ・公民館費 551万3千円
- ・文化財保護費 236万6千円
- ・青少年問題対策費 171万6千円
- ・図書館費 749万8千円
- (図書購入 250万円
- 光熱水費 199万2千円)
- ・公民館建設費 2億3,824万2千円
- (用地買収費 2,879万9千円
- 建設工事費 2億2千万円)
- ・社会体育費 2,740万円
- (総合体育館光熱費、清掃費、野球場整備費、諸大会費など)
- ・学校給食費 1,636万7千円
- ・スポーツ公園建設費 2,519万円

## 民生費 2億776万6千円

老人福祉、障害者福祉対策として、医療扶助、児童福祉、母子福祉を推進し、老人の公衆浴場の無料化を実施します。また黒崎町社会福祉協議会を強化していきます。

- ・やひこ学園、社会福祉協議会、心配ごと相談所などの負担金、補助金
- 630万3千円
- ・敬老会経費 202万1千円
- ・広域養護老人ホーム、老人クラブなどへの負担金、補助金 710万9千円
- ・老人憩の家管理費 712万円
- ・国民年金委員委託料 137万8千円
- ・児童福祉総務費 1,956万9千円
- ・児童措置費 5,853万円
- ・黒鳥保育園委託措置費 2,024万4千円
- ・児童遊園維持管理費 123万6千円

## 商工費 1億2,109万円

本町の商工業は依然として厳しい状況です。商工会への助成金を増額し、国県の施策を取り入れて活性化を図ります。商工会会員の資質の向上のために各種講演会、講習会、研修などを支援します。

- ・大野町商工会補助金 650万円
- ・商工業近代化資金貸付金 2,000万円
- ・産業育成資金貸付金 5,800万円

## 議会費 7,339万7千円

- ・議員報酬(26人分) 4,795万2千円
- ・議員期末手当 1,518万5千円
- ・共済費 471万9千円
- ・研修、調査などの旅費 317万5千円
- ・議長交際費 35万円

## 消防費 3,260万2千円

- ・消防防災対策として、防災思想のPR
- 消防施設の整備、消化栓の新設、移設をします。非常備消防団の組織整備は終わりましたが、さらに小型動力ポンプ2台を更新します。
- ・消防署の維持管理など 906万9千円
- ・消防団員報酬 467万6千円
- ・消防施設費 439万円

- ・公債費 4億768万8千円
- ・労働費 468万5千円
- ・災害復旧費 50万円
- ・予備費 1,000万円

# 特別会計

5つの特別会計も3月議会で承認されましたので報告します。

## 農業共済事業

収入、支出とも50338万1千円で、前年比4.6%の増額です。農業共済は災害の防止、被害補償無被害農家への無事戻金の支払いを基本としております。

- 今年度は病虫害発生予察抽出調査場を町内十二か所に設置します。
- また、薬剤費の一部を補助します。
- 収入―事業収益2672万2千円
- 支出―事業費用2671万9千円

## 国民健康保険

国民健康保険特別会計は、歳入歳出それぞれ8億4119万5千円を計上、前年比11.7%の増額です。財源は―

- 国民健康保険税―3億524万4千円
- 国庫支出金―4億5525万円
- さらに医療費が増大しており、保険給付準備金の大部分を取崩し一般会計からも5850万円を繰り入れます。
- その他―8074万1千円です。
- 主な歳出は―
- 保険給付費―5億5896万7千円
- 老人保健拠出金―2億3097万1千円

## 老人保険

昨年二月一日に老人保健法が施行され、今年度で2年めです。歳入歳出7億2270万5千円を計上しました。前年比12.5%の減額です。財源は―

- 支払基金交付金―5億5586万円
- 国庫支出金―1億4420万7千円
- 県支出金―3601万2千円
- その他繰入金、諸収入が―
- 3690万円
- 歳出は―
- 医療諸費―7億2169万2千円
- 総務費―83万9千円
- その他―17万4千円

## 水道事業

今年度も安定供給と施設の維持管理に重点をおきます。給水戸数は6320戸、年間給水量を約261万㎡と見込んでいます。

- 収益的収入―3億5372万6千円
- 収益的支出―3億1548万4千円
- 収益的収入は皆さんが納める水道料金などのことで、支出との差額が利益ですが、利益は企業債の償還、設備の改良に当てます。
- 資本的収入―150万円
- 資本的支出5886万5千円
- 資本的というものは施設のことです。今年度は支出のうち約4千万円を給水管を改善していきます。

## ガス事業

ガスの原料は東邦天然ガスから購入していますが、この価格は今年十一月三十日まで据置かれていますので、ガス料金も現行価格を維持します。十一月以降もできるだけ据え置きしたいと思います。

- 収益的収入―5億3525万円
- 収益的支出―5億2824万2千円
- 収益的収入の大半は皆さんのガス料金です。収益的支出の内訳は購入ガス費3億1771万円、その他に供給管理費などです。
- 資本的収入―3023万2千円
- 資本的支出―7574万1千円
- 支出は建設改良費(約5100万円)企業債の償還にあてます。

# 町長の日誌

決妻(一) 一郎

三月二十五日(日)黒崎農協で第十五回農協青年部の総会に出席しました。農業を取りまく環境は依然として厳しく、第三期減反政策が実施されます。補助金が減額され、日米農産物交渉は難航しているようで、頭の痛いことばかりです。このままでは農民は生産意欲を喪失してしまいかもしれません。

総会で記念講演があり、講師として弥彦村農事組合法人麓二区生産組組合長の本多英氏氏が招かれました。本多氏は人生を農業一筋に賭けた情熱と体験を話され、

実に有意義な講演であったと、わたしもかつては農民の一人でありましたから共鳴するところ大でありました。

何事もなせばなる、なさぬは人のなさぬなりけり、と昔からいわれております。灯台も暗し身近などところに大きなエネルギーがあると力強く思いました。

何事も人の『せい』にしないで、困ったときは知恵出し合って明日を築こうではありませんか。

四月十三日(金) 新年度人事異動で、県立黒崎高校に宮地校長先生

が県教育研修センター所長として転勤され、後任に高田商業高校から山本校長先生が赴任され、その歓迎会がありました。

これはPTA会長さんが計画されたもので、わたしも出席させていただきました。送る立場と送られる立場、迎える立場と迎えられる立場、迎える立ち場と迎えられる立ち場、一時的にせよ心理的相違点があっても、筆舌にいいあらわせない故々の思い出。汗を流し情熱を賭けた人間同士の生きがい。黒崎高校の発展を約束した出会いと別れ。避けておられない人の道とは思いますが、何かうしろ髪を引かれる

思いでした。新設高校の施設設備に追われ、今もって校舎の落成式を挙げていないこと。明年の開校十周年を記念して、校門の建設準備中とのことなど話は尽きません。

話は飛躍し黒崎分校時代になりました。戦後の教育改革で黒崎中の校舎(といっても青年学校校舎)に併設された暗い小さな建物。定時制で生徒は昼は働き夜勉強です。財力の乏しい家庭の者が多かったと思います。

当時の農業はほとんどが人力か畜力でしたから、朝は早く夜は星を仰いで帰宅してました。

わたしは第一期卒業生の答辞が忘れることができます。『我々はやっと教育の機会均等が与えられた。どんなにつらくとも、忙しむときは腹が減っているでも、忙しむべきは腹が減っているでも、忙しむべきは腹が減っているでも、明日のために就寝しているが、一人でも早く家族と一緒に働く。でも勉強が自分のためと先生も生徒も命がけであった。』

黒崎高校は明年十周年を迎えますが、分校時代の歴史と良き伝統を継承し、出会いと触れ合いを大切に、すばらしい校風を築きたいものであります。